

【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：秋田県空手道連盟 ]

[記載日： 2026年4月4日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 当連盟に加盟する各団体(以下「加盟団体」)の代表者並びに連盟役員による総会を年1回開催し、重要事項の決定は多数決により決議。また、財産の管理運営は連盟専用口座を用い、会計監査を年1回行うなど適正に管理している。なお、連盟の規約について現在刷新中である。	A
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 現在の規約が団体の活動に適切かどうかを見直し、必要に応じて改訂を行い、柔軟性を持たせながらも、運営の透明性を強化している。	A
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 役割分担を明確にし、役員向けに定期的なガバナンス研修の他、定期的にフィードバックを行うことで各役員の実任感を高め、組織全体の成果向上を図っている。	A

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>規約に定める運営方針を、毎年度の理事総会および常任理事会で資料を配布し、各支部を通じて保護者等に公表している。</p>	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>コンプライアンス違反の事例等を連盟役員へ適宜周知し、内容及び問題点を検証し中央競技団体 (NF) のコンプライアンス研修や外部団体が実施する研修会へ積極的に参加するように役職員にうながしている。</p>	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>コンプライアンス違反の事例等を連盟役員へ適宜周知し、内容及び問題点を検証し中央競技団体 (NF) のコンプライアンス研修や外部団体が実施する研修会へ積極的に参加するように連盟および各支部の指導者にうながしている。</p>	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>事業及び収支決算について総会等で報告。経理全般における内部監査体制を整備し、定期的に業務プロセスの見直しを行ってこれにより、エラーや不正行為がないよう信頼性の高い財務報告が実現している。</p>	

(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>国庫補助金に関する法令を役員に周知し、必要な研修を実施している。また、具体的な支出内容については行政からの指導を積極的に受け入れ、透明性を持った運用を心掛けている。</p>	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>競技大会や連盟の運営における補助金の使用に際して、行政が定めるガイドラインに基づいて予算を編成し、支出が承認された用途にのみ使用するよう努めている。定期的に監査を行い、透明性を確保する体制を構築している。</p>	
<p><b>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b></p>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>定期的な理事会および常任理事会の開催を通じて、決定事項や活動報告を文書化し、年次報告書の作成・配布を行い、組織の財務状況や活動内容を明示している。役員および各支部に結果を公表することにより、組織運営の透明性を確保している。</p>	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>情報開示のタイミングを増やし、リアルタイムでの情報提供を検討している。特に、イベントの進捗や重要な決定事項に関する情報を即時に発信する仕組みを構築できるよう準備をすすめている。</p> <p>ウェブサイトの作成を検討し、よりアクセスしやすい状況を整え、様々な情報を一元化し、会員や関係者に対する透明性を向上したい。</p>	